

◇仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟

合同実践運動研修会開催

去る八月二十四・二十五日、磯はなび(高岡市太田)において、仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同実践運動研修会が開催され、仏婦会員・寺院女性会会員一〇〇名が参加した。

一日目の研修テーマは「仏事(お勤め・法要・葬儀)は何のため?」として、今まで受け継がれてきたものが次々と姿を消し、仏事の意味も見失われつつある中で、仏事は何のためにあるのかを改めて考えるために設定されたもの。

講師の岡西法英氏(元教区相談員・五位組教願寺住職)は、「葬儀は主催者である喪主・遺族にとつては、遺骸を葬るに当たって、手継ぎの住職・有縁の僧侶を招き、親類縁者をはじめ恩義ある人々に案内して会葬してもらい、故人になり代わって生前の厚意に対する謝意を表す儀式であり、会葬者にとつては遺族を慰め励ますための弔いの儀式である」と話された。その上で「葬儀は何のためにあるのか?それは愛する家族の死という衝撃、混乱のただ中にある遺族を慰め、励まし、勇気づけるためにある」と押さえられた。また、法要は『仏法の肝要』という意味であり、あらゆる仏事は三宝(仏・法・僧)供養ということであり、お勤めも法要も、お釈迦さまが信徒の家に招かれ食事を共にし、説法をするという、かつての仏陀説法の再現であるとした。

研修終了後は、懇親会が開催され、両執行部対抗の二人羽織、西岡教務所長扮するジャンケン大王との勝ち残りジャンケンゲーム、寺院女性会有志によるおわら風の盆の踊りなどの余興が場を盛り上げていた。



二日目の研修テーマは「浄土真宗の教えは日常生活の中でどのような意味を持つのか」。講師の岡西氏は「仏教とはすなわち生死出ずべき道、王子として生まれたお釈迦様がそうであったように、どんなに恵まれた環境に生まれたとしても、人間である以上、老病死をはじめとして様々なことに悩み苦しまなければならぬ、この生死の苦をどう乗り越え、人として生きることの喜びと安らぎを見出すかが仏教のテーマ」であると提起し、「浄土真宗の教えに出会い信心を獲るといことは、多くの悩み苦しみを背負いながらも、それに負けない大いなる勇気づけと励ましをいただくということである」と提言された。

◇『土徳流離』上映会

去る八月三十日(火)、西本願寺高岡会館においてドキュメンタリー映画『土徳流離』の上映会が行われ、相馬支援米などの東日本大震災支援事業に協力いただいている門信徒の方を中心に六十七名が訪れた。

この映画は本派僧侶でもあるドキュメンタリー映像作家の青原さとし氏（安芸教区）が、東日本大震災を契機として製作。二百年前の大飢饉の折に、復興の担い手として相馬地域に越中や越後、加賀から移り住んだ真宗門徒の歩みを辿るとともに、今なお相馬地域に残る当時の文化・風習を『土徳』（その土地に根差している風習や思想）として捉え、膨大な取材記録や聞き取りをもとに、法要などで互いのつながりを確かめ合いながら、復興に向けて必死に歩もうとする相馬の人々の姿を記録したもの。

映画では特に砺波地域とのつながりを中心に描き、相馬地域では今も砺波と同じ造りの家屋がある

ことや、『蓮如柿』と呼ばれる、富山でよく見られる柿と同じ柿が植えられていること、『越中節』の路念仏が受け継がれていることが紹介されていた。

五年半経った今も、震災と原発事故の影響は深刻で、復興の道のは困難を極めている。映画のスタッフロール後には、復旧した常磐道（福島第一原発沿いの道路）の放射線量が立ち入り制限区域並みの高さであることを示す映像や、原発事故後に避難所の床に布団を敷いて眠る子どもたちの姿が映し出され、震災の問題は地震



や津波被害だけでなく、原発事故に伴う国家エゴ・集団エゴが押し通される中で、その犠牲となっているのは子どもたちなのだと言っているようであった。

★高岡教区野球チームが九年ぶりに本山杯を奪還！

八月二十七日（土）、第五十三回本山杯寺族青年野球大会（高岡教区担当）が高岡龍谷高校にて開催され、寺族青年の親睦とともに熱戦が繰り広げられた。今大会も、京都より本願寺チーム・富山教区本願寺クレシヤース、高岡教区野球部が、計三試合を戦った。

メインの試合である富山教区本願寺クレシヤースとの本山杯では、先発した公文名 智さん（射水組光照寺）の投打による活躍と打線が繋がり、七対三で高岡教区野球チームが勝利し、九年ぶりに本山杯を手にする事ができたが、今年も富山・高岡両チームは本願寺チームに負け、次年度への課題が残った。

また、本山杯 MVP には、富山・本山戦でヒットを量産した、川岸雅紀さん（五位組永賢寺）が、敢闘賞には、本山戦でタイムリーツーベースを放った飛鳥寛静さん（若神組善興寺）が選ばれた。



大会終了後、夕方より、本山、富山、高岡の各教区野球部関係者による表彰式と交歓会が開催され、大いに盛り上がり、お互いの健闘を称えあった。次回はV2目指して富山教区担当で行なわれる予定。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇一六を開催して

今年のつどいは、戦後七十一年を迎え、日本が着々と戦争のできる国に方向づけられている不安な状況のなかで、「政治と宗教のかかわり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。これまで、真宗教団の戦争協力への慚愧の思いから、非戦平和を訴えてこられた県内の東西両本願寺の僧侶四人をパネリストとしてお招きし、ご意見を伺いました。

時間的な制約もあって、十分なディスカッションにまで至らなかった反省点もありましたが、お一人おひとりの話された内容は、「なぜ、このつどいを開催するのか」という原点を思い起こさせて下さるものでした。特に、藤井慶輝さん（本派富山教区）の戦争体験のお話は、私が幼少の頃、母方の祖母から聞いた富山大空襲の光景と全く重なるもので、まさに、「いのちが終わるかもしれない」という鮮烈な体験が、未体験の者にまで迫る生々しいお話でした。体験の伝承こそが非戦平和を願う原動力である、ということをも改めて感じさせていただきました。

今回はアンケートの意見について、いくつかご紹介させていただきます。

まず、「つどい」に初めて参加された方が、回答者中三十六％と例年に比べて多かったのが印象的でした。

「このつどいに参加されてどうでしたか？」という問いに対し、

「良かった」というご意見が多い（六十一％）一方で、「どちらと

も言えない」という意見（二十二％）もあり、「真宗王国の富山県が、同時に改憲及び安保関連法案肯定の自民党保守王国というのはどうしてなのでしょう。県民の本当の思いはどちらなのでしょう。わかなくなりました」というご意見や、「本山の行った事によってどう影響があった、それに対しどう各地は各門徒達に伝えたのが知れたかった」など、政治と宗教のかかわりにみなさん関心を持っておられたことがわかりました。

また、「憲法改定に賛成ですか？反対ですか？」の問いに対しては、「反対である」という意見が多数（六十四％）のなか、「わからない」という意見もある程度（二十八％）見え、「改定の内容をしっかりと全国民に説明してほしい」と改憲後のイメージが湧かないことへの不安が読み取れました。また、「今の憲法では、解釈だけで自衛隊をどうにでも出来るようになってしまった。ただし、自民党草案に基づく憲法改定は、絶対に阻止せねばならない。あれは、新たな戦前を作り出す恐ろしいものです」、「他人の命を奪うことは許されないことです。私の子や孫にそのようなことをさせてはならないし、そのような日本にしてはいけません」となど、日本国憲法がこれまで果たしてきた平和主義をないがしろにする改憲は絶対に反対という意見が目立ちました。「教えの中でも非戦を訴えていかなければならない」など、「戦争は絶対にやってはならない」という願いがこのつどいを成り立たせているのだということも改めて教えられた思いがしました。

【ヤスクニ問題専門委員会委員長 飛鳥寛静】

◇これからの日程（9/21～10/21）◇

| 9月 | 教区・財団行事 | 教化団体・組行事 |
|-----|------------|----------------------|
| 21 | 財務・特別合同委員会 | |
| 23 | 青年布教使打合せ | いろは塾 |
| 27 | | 連区総代研修会（～28 磯はなび） |
| 28 | 僧侶研修会（第3回） | コーラス（夜） 長寿苑ビハーラ活動 |
| 30 | | 高寿会研修旅行 仏婦実践研修会Ⅱ |
| 10月 | | |
| 6 | | 仏壯次期役員選考会議 |
| 11 | 聖典セミナー | コーラス（昼） |
| 12 | | 組織教化委員会 |
| 14 | 常例法座 | |
| 19 | | 広報委員会 いろは塾 |

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り

※ 一袋二枚入りで価格は次の通り

- ・特大箱（175袋） 8,300円
- ・大箱（36袋） 2,300円
- ・1組（10袋） 500円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)
Fax. (0766) 21-5152

★関野組常念寺の宗教法人解散について

富山地方裁判所高岡支部の7月13日付決定により、8月2日付宗教法人解散命令が確定いたしましたことご報告いたします。

今後、同宗教法人の清算手続き（大谷本廟納骨所の整理等）が行われますこと併せてご報告いたします。

以上

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎9/24（土）：本多 隆朗 氏

（伝灯奉告法要行事本部長）

「伝灯奉告法要に参拝しよう

～西本願寺花灯明～」

□9/25（日）：石川 聖子 氏

（富山教区）

◎10/1（土）：本多 隆朗 氏

（伝灯奉告法要行事本部長）

「伝灯奉告法要に参拝しよう

～埋め木作り、謎解き脱出ゲーム～」

◎10/8（土）：木田 知生氏・本多 隆朗氏

（龍谷ミュージアム館長・伝灯奉告法要行事本部長）

「未 定」

□10/9（日）：未 定

（高岡教区）

◎10/15（土）：木田 知生氏・本多 隆朗氏

（龍谷ミュージアム館長・伝灯奉告法要行事本部長）

「未 定」

【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師： 未 定

（高岡教区）

ご講題：『 未 定 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。